

2025年6月11日

学校法人三幸学園  
横浜ビューティーアート専門学校  
校長 小泉 いづみ 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 高橋 健二

### 学校関係者評価委員会実施報告

2024年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 高橋 健二 (株式会社 M.SLASH HD ディレクター)
- ② 齋藤 舞香 (P&G プレステージ合同会社 2024年度卒業生)
- ③ 加藤 美果 (株式会社エシエル)
- ④ 佐々木 康人 (飛鳥未来高等学校 横浜関内キャンパス キャンパス長)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2025年6月11日 (会場 横浜ビューティーアート専門学校 応接室)

##### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2024年度 学校法人 三幸学園 横浜ビューティー&ブライダル専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 松川喜代美

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

「初心を忘れず、基本に忠実に」を心掛ける

教務『居心地の良いクラスづくり』（教育の原点は、“あきらめない教育”を基本とした教育思想を持つ）

▼居心地の良いクラスを目指すために、規律とリレーションの徹底を行う

規律：共有されたルール リレーション：親和的な人間関係

▼良好な集団の上・中位層（2:6:2）の機会を多く持つ

クラスメイトへの良い影響を与える存在となる

※2025年度→「B×art 新風を吹き込む」社会人育成の場を定義した生徒指導を行う

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

目指す人材育成像として、自ら考え自ら行動するとしているが、現状主体性を持った学生へと導く機会や育成、指導が不足している。

#### ② 今後の改善方策

自分で考え、判断する機会を増やすことが重要と考える。失敗を恐れずに挑戦し、成功体験を積み重ねる機会や行動できる環境を整えることが必要。そこへは教職員の関わり方が重要。

#### ③特記事項

特になし

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

## ① 課題

残業時間の低減および、新人事制度の内容理解とやりがい、成果のマッチング。

## ② 今後の改善方策

各個人の業務への向き合い方など、会議内の研修等を実施。

## ③ 特記事項

特になし

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

成績不振や単位不良に関わる出席状況、また喫煙やマナー・モラルに欠ける行動に対して、対処療法になりがち。職員の経験不足も伴い対処が単純になり柔軟性に欠ける。  
技術力向上の練習時間の確保。

#### ② 今後の改善方策

対外折衝や外部との接点をできるだけ多く持ち知見を得る（コンテスト・ボランティア・企業様訪問・セミナー等）

#### ③ 特記事項

特になし

## (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

## ① 課題

就職率は概ね高かったものの、年度末に一気に決めにいった状況で余裕のあるスケジュール感ではなかった。

退学率低減。

資格取得率は、全科受験のサービス接遇検定や・メイクアップコースの日本化粧品検定の合格率が低い。美容師免許取得コース併修者が多い状況。

## ② 今後の改善方策

検定の合格率をあげるための施策。

美容師免許取得コースの退所数が多いため年度途中の意識づけが必要。

## ③ 特記事項

特になし

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

## ① 課題

スクールカウンセラーの活用、行政への網渡し記入。

保護者連絡のすれ違い。

## ② 今後の改善方策

保護者説明会の実施。

保護者連絡システムの活用で出欠状況や行事案内の周知を行う。

## ③ 特記事項

特になし

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

## ① 課題

クラス数に合った教室・設備の増築、カウンセリングルームや空き教室の確保。

## ② 今後の改善方策

オンデマンド授業やハイフレックス授業を取り入れて教室・設備の確保。

## ③ 特記事項

特になし

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

## ① 課題

オープンキャンパスの実施回数や出勤人数の適正値の見直し、教職員の対応力向上。

## ② 今後の改善方策

次年度オープンキャンパスの実施日の検討、教職員向け対応力向上の勉強会の実施。

## ③ 特記事項

特になし

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

## ① 課題

## 【中長期計画】

なし

## 【予算・収支計画】

なし

## 【会計監査】

なし

## 【財務情報の公開】

なし

## ② 今後の改善方法

## 【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023年度～2027年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

## 【財務情報の公開】

なし

## ③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

## ① 課題

法令遵守の徹底、コンプライアンスに関する知識やハラスメントに関する知識を有した適正な運営。

## ② 今後の改善方策

会議や掲示物等を通じて、すべての職員の法令遵守に対する啓蒙を図る。

個人情報保護法など、毎年継続し繰り返し法令の正しい知識を教職員に伝えていく。

教員としての自覚をしっかりと持って教壇に立つてもらえるよう定期的にハラスメント、コンプライアンスに関する研修開催。

## ③ 特記事項

特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

## ① 課題

地域に愛され信頼される学校づくり、地域からの生徒クレーム。

## ② 今後の改善方策

ボランティア活動、産学連携の機会は増えつつあるので、地域に貢献できる内容の検討と生徒への地域マナーの啓蒙。

## ③ 特記事項

特になし